

20180403 版

湯川秀樹「研究室日記 昭和十九年九月～昭和廿年三月 IX」(s04-19-13)の一部

昭和廿年

1月1日

7時前起床。今年是一家四人に忍さん 林さんも揃って お屠蘇の代りの御酒、御雑煮を祝ふ  
山本さん、井上□氏挨拶にくる。晴れたよいお正月である。 澄子、忍さん少し熱あり

1月2日

今日は寒い 朝から雪が降る。 昼前、中市氏来訪。  
午後一家六人にて色々遊ぶ。鈴木坦君夫妻、谷川君来訪。小生も7度前後の熱あり。咽喉が少し痛み、声涸れる。 澄子 忍さん、尚少し熱あり。

1月3日

咽喉が痛む 朝熱7度6分。起きて居る。  
午後一時半頃 阪神地区に敵編隊数次に互って来襲。空襲警報、二回退避。  
大阪市に焼夷弾投下。三時過解除。  
三回程吸入をする。咽喉の痛み殆んど全快。  
本日の空襲は敵編隊数90機 矢張り名古屋を中心とせるものなり

1月4日 大分暖かい。

まだ咽喉がすっかり癒らぬので吸入をして家に居る。昼前 小林君来訪。  
午後 上田、野口、鳴海夫妻、南部さんなど家に集まり 色々 夕方まで遊ぶ。  
澄子発熱7度9分

1月5日

又少し寒くなる。終日家居。熱はないが まだ少し

鼻風邪が残っている。

昨日 台湾、沖縄に米機約 900 来襲。

比島決戦はレイテより比島全般に移行せんとし、  
小磯首相、戦局の必しも楽観を許さざることを強調す。

1月6日（土）

登校。四手井君に会う。澄子 8 度 3 分まで発熱。

夕 竹上氏来診。矢張り風邪との事

1月7日（日）

家居。まだ鼻風邪が癒らぬ。

敵機動部隊ルソン島リングエンに艦砲射撃  
開始。吾が航空部隊出撃 空母 3 轟沈等  
の戦果を挙ぐ

1月8日（月）

登校。林さん土佐へ帰る。

午後教室相談。小林稔君教授推薦の件。

1月9日（火）

登校。千本大市にて 武井弘量氏の御馳走になる。茂樹  
兄、高四郎兄 有恒氏来会。空襲警報発令 晩 岡崎つるや  
にて 秋田屋の招宴 大塚、服部、斎藤、エッカルト、エバース  
マイヤー、大山、谷口氏来会 九時半帰宅

1月10日（水）

寒い。登校。

午後 量子力学講義 今回で当分休講、二回生が勤  
労働員より帰ってから再開の豫定

昨日 米軍 ルソン島リングエン湾より上陸。愈、大決戦の  
火蓋は落された。

1月11日（木）

登校 大変寒い。この頃は毎朝頭巾を被って出かける。  
正午朝日新聞橋本記者来室 仁科さんの朝日賞に関する  
原稿を書いて渡す。 養徳社木村氏、中央航研  
塩谷氏来室

1月12日(金) 雪降る 大変寒い  
午後 三回生演習打合せ  
深夜地震あり 眼を覚す  
咽喉がまだ癒らぬ、咳と鼻汁とが無くならぬ

1月13日(土)  
登校  
午後 理論談話会  
長谷川君。Pauling, Chemical Bond 続き

1月14日(日)  
昼前より鳴海氏夫妻、上田さん、野口さん招待  
昼食を共にする。 一時過空襲警報発令 敵機  
見ゆ。夜中に地震あり

1月15日(月)  
朝 駅へ切符を買ひに行く。熱あるらしく頭痛  
がするので大学で昼食後、家へ帰る。7度  
9分熱あり。臥床。晩竹上さんに診て貰ふ。  
気管支加答児[カタル]

1月16日(火)  
朝 7度9分。併し気分はだいぶよくなって来る。朝中臥床。  
午後長谷川襄君来訪。荒木、小林両君も  
招んで夕食。夕方平熱に復す  
10時40分頃また地震あり

1月17日(水)  
朝大変寒く硝子窓に氷の結晶が見える。室内零下  
2度。十時頃 戸外の水道管破裂。水が噴  
出す。

用心のため今日も家に引籠る。夕方6度9分

1月18日(木)

今朝も大変寒い 室内零下三度 硝子窓の氷の結晶は益々鮮かである

16日夜、京都市東山女専へ米機爆弾投下、京都への投弾はこれが初めてである。

平熱に服したが、痰が少し残ってるのもう一日家で静養する。

1月19日(金)

零下二度。今日から登校。朝荒勝教授と懇談  
午後 三回生演習

Casimir 第一回 高木君

一時過ぎ警報発令、阪神に八十機来襲。

三時前演習再開

1月20日(土)

登校。今日は少し暖かい

1月22日(月)

登校。午後教授会。小林君教授任用の件など。

1月23日(火)

登校

午後 荒木源教授の室にて CO<sub>2</sub>吸収の問題  
続講 小野君 鈴木君出席。空襲警報発令。

1月24日(水)

登校。朝 林さん高知から帰って来る

午後 高橋勲君。野津教授来室

1月25日(木)

登校。大変寒い。春洋熱下る。林さん8度9分  
荒勝氏に面会

上京見合せ 仁科氏に電報

1月16日夜 東山爆撃結果 11時15分投弾 24分警  
報発令 高度6000以上 爆弾50匁<キログラム>13個以上  
焼夷弾2個  
落下地点 鳥辺山墓地、三島神社、修道校、  
妙法院前、京都幼稚園、東山渋谷通り  
死者34名 即死17名  
重傷23名 軽傷26名  
家屋全壊廿余戸 半壊112戸  
全焼2戸  
罹災者750名  
敵機は西南より来り東北に去る  
灯管不良。硝子破片にて負傷多し  
布団を被ること 硝子戸開けること

1月26日(金)

午後三回生演習 安藤君。Casimir 第二回  
夕方 中市氏宅にて茶会。澄子も出席。瓢亭にて夕食

1月27日(土)

午前三回生演習 永井君 Fock, Zweite Quantelung  
午後帝都へ七十機来襲  
晩北洋会

1月28日(日) 雪降る 朝零度(今迄の温度は1.5度だけ低く読み過ぎ)

午後口所 水道管直しに来る  
三時半過より一人で深泥ヶ池へ散歩、北岸の方は  
風が当らぬので暖かく雪もすっかり消えている  
京都保養院の入口の所まで行って引返す。池の面は  
半以上芦で覆はれ 昔見た時と 感じが違ふ

1月29日(月) 朝零度

午後赤外線の会 荒木氏の室  
↓晩3回に互って警報あり

1月30日(火)

午前 警報発令。寒い

午後 三回生演習 小山君 chapter IV, spin of the electron.

晩二回警報発令。

1月31日（水）

寒さ稍緩む。併し表の水道管また破裂

登校。終日素粒子論原稿書きなどに

費す

2月1日（木）

朝、素粒子学講義開始。

2月2日（金） 雪降る。雨となる。午後、寒し。

午前二回生集合。勤労働員決定。

午後、Casimir 三回生。高木君。

2月3日（土） 雪、寒し

朝十一時より会議室にて入学者決定。59名中34名

（定員31名）

午後、嵯峨水交社に荒勝、堀場、佐々木 三氏と会合、

F研究相談。帰道 警戒警報発令。

2月4日（日） 雪。寒し。

終日家居

高秋風邪。大分快方に向ふ。澄子も起る

午後、敵85機神戸市に来襲、15機、松阪市に来襲。

2月5日（月）

登校、午後教授会。第1次入学者決定。

忍さん北井へ帰る

2月6日（火）

登校。昼も夜も警報出る

2月7日（水）

終日雪 大分積る。

登校、

敵 2 月 3 日、米上陸軍マニラ市一角に突入。

1 月末の敵空襲にて、本郷兄の家のすぐ裏まで火事が進んできた由。しかし、兄の家は無事。

2 月 8 日 (木)

朝、講義

2 月 9 日 (金)

朝、零下 2 度 今冬で一番温度が低い。路もすっかり凍てついてゐる 電車を待つこと 40 分。これからはこのくらいの無駄はたびたびあることと観念せねばならぬ。散髪屋も満員で断念する。午後三回生演習。安藤君 Casimir 続き。坂田君来室。午後散髪に行く。この頃は色々腹の立つことがあるがよくよく辛抱せねばならぬ。

2 月 10 日 (土)

登校

午後敵九十機北関東 (太田付近) に来襲。

晩、不寝番 警戒警報出ず

夕方咳が出る。熱 6 度 8 分。

2 月 11 日 (日) 紀元節 朝 1 度 大分暖かい。

終日、家居。吸入を二度する。

2 月 12 日 (月)

登校午後大学院学生の件相談。

2 月 13 日 (火)

登校 愈々明日より上京に定める 朝日惣郷氏来室

2 月 14 日 (木)

朝、10 時 23 分の急行に乗るつもりで家を出たが

二時間以上の延着の由で断念。午後出直して、4 時 52 分

の鈍行に乗る。1時間。延着。

2月15日（木）

朝7時 東京着 東片町に落付く

朝の中に仁科氏宅 理研仁科さんの部屋

に順にまはる<回る>。正午過 華族会館に日獨<独>

懇談会に出席。高石氏、本庄氏、寺村氏、

松本氏（?）、鈴木氏等と会談。警戒警報

発令。大学へ行ったが、講義は出来ず、

本日の空襲は主力（60機）、名古屋方面空襲。

2月16日（金）

朝7時 敵艦載機来襲 朝食半で退避壕に入る

朝10時 白水社 草野氏来宅

午後より夜まで終日警戒警報 延1000機以上

来襲。午後大学にて講義

午後5時 長谷川中尉来宅

夜7時半 井上健中尉来宅

2月17日（土） 朝7時敵機来襲。

朝10時、宇宙線班の会 学士会館 来会者10数名、

宮崎氏、精密計数管式宇宙線計。

72本

<以下2ページ 会のメモ 略>

学士会館にて昼食後、東大にて講義。四時頃まで

約三時間。警戒警報漸く<ようやく>解除、

東京駅へ寄ったが、切符買はず

晩または警報出づ。

2月18日（日）

朝食後、駒込駅に行き、帰りの切符を買う。間もなく、

警報解除となる。長岡先生のお宅を訪問。

東片町にて昼食後、兄に見送られて、東京駅へ行

き、午後3時過ぎの大阪行きに乗車。中村誠太郎と

暫らく話す。

2月19日(月)

汽車は無事朝5時過ぎ、京都駅についたが、汽車は途中で超満員となり、窓から下車する始末である。

6時半帰宅。

午後、教授会に出席。

旅行前から風邪気味で、咳とたんが取れぬ

2月20日(火)、小雪

登校、咳がなほひどくなる。夕方7度1分

19日朝、敵米軍遂に硫黄島に上陸。

2月21日(水)

咳がひどいので、学校を休んで、一日病臥  
熱は下った。

2月22日(木)

今日も休む。併し起きて「目に見えぬもの」の原稿を書きたす 夕方熱6度9分。  
晩、竹上氏来診。咳のため胸が痛い。

2月23日(金)

今日も一日静養。おとなしく臥てゐる 夕方  
6度8分。

2月24日(土)

今日は少し寒い。朝熱6度3分、今日から  
登校、

朝三回生演習。小山君、Kemmer Quantum

Theory of E. B. particles and nuclear Interaction

午後、談話会、

小野君、Fierz, Wechselwirkung zweier

Nukleonen in der Mesontheorie

(Helv. 17 (1944) 181)

夕食に坂田君を招待。

2月25日(日)

雪深し、3寸位積もる。終日寒し、  
夕方忍さん帰って来る。

今日午前、艦載機延べ600。午後、B29  
130機、関東地方を襲う。

2月26日(月)

登校。

午後談話会。坂田君も出席。

Fierz, Theorie magnetisch geladener  
Teilchen (Helv. Phys. 17 (1943) 27)

2月27日(火)

2月28日(水)